

一揆とは心を一つに結ぶこと、被災者本位の復興一揆をすすめよう 三閉伊一揆 160周年記念の集い

日時 10月27日(日)

12:30~15:30

会場 盛岡市 県公会堂ホール

参加費 資料代500円

内容 開会式・ほら貝・挨拶ほか

第一部 記念講演

「三閉伊一揆からひきつぐもの
～心をひとつに結んで復興を～」

講師 茶谷 十六さん

(岩手日報に「三閉伊一揆」を連載)

第二部 語る会からの報告

- ① 田野畑村三閉伊一揆を語る会
- ② 岩泉南部三閉伊一揆を語る会
- ③ 胆沢・江刺の百姓一揆を語る会
- ④ 稗貫・和賀の百姓一揆を語る会
- ⑤ 南部三閉伊一揆を語る会
- ⑥ 復興県民会議からの訴え

*事前の行事 11:30から 頭人多助の墓を案内
(希望者は本誓寺の境内にお集まりください)

みなさんのご参会を
心からよびかけます。



一揆の像
座像 弘化の一揆の弥五兵衛
立像 嘉永の一揆の多助

ことしは、嘉永6年(1853)の旧暦10月27日(新暦では11月27日)に三閉伊一揆が勝利してから160周年になります。

ペリーの「黒船以上に大きな事件」といわれる三閉伊一揆は、現在の三閉伊郡、下閉伊郡の人たちが、「小〇(困る)」の旗をかかげて、結束してたたかい、藩境を越えて、気仙郡で仙台藩主に要求を訴え出しました。ですから、一揆の舞台は「3・11」の被災地とちよūd重なります。

そのため、いま東日本大震災救援・復興岩手県民会議では、被災者本位の復興を求めて、「いわて復興一揆2013」の名のもとに活動しています。

11月には三陸沿岸での「復興一揆大行進」も計画しています。

また、現在、「三閉伊一揆を語る会」が、田野畑村、岩泉町、盛岡市に、「百姓一揆を語る会」が、花巻市と北上市、奥州市につくられ、活動しています。これほど県内各地で百姓一揆をめぐる活動がなされるのは、かつてなかったことです。

そこで、岩手日報紙に「幕末維新を駆けた男たち」を連載した、茶谷十六さんに講師を迎え、左記の内容で「三閉伊一揆160周年記念の集い」をもち、被災地の復興への励みとしたいと思います。

主催：三閉伊一揆160周年記念の集い実行委員会 (連絡先：盛岡市本町通2-9-4 年金者組合盛岡支部 三閉伊一揆を語る会 T・F 019-622-7965)
協賛：東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議 後援：田野畑村・同教育委員会／岩泉町・同教育委員会／岩手日報社